

同六十九年母后崩御、明年正月御即位あり、御宇の間文學工藝を興し農事蠶業を奨め給へり、四十年崩御、後ち聖武天皇神龜四年廣幡八幡大神と奉稱し、又孝謙天皇天平勝寶三年十一月應神天皇と奉諡す

當神社勸請年代未詳、里説に往昔當村内上馬瀬戸、森ノ幅、宮坂（今の社地カミヤの内）の三所に奉祀ありしが、天正年間今の地に二所を合祀せり、嘉永元年八月再建あり、古來當村の産土神にて、明治四年九月村社に列し、四十年三月神饌幣帛料供進指定あり

同村字大岩間

無格社 山神社

祭神 大山津見神

大神は、伊邪那岐、伊邪那美命の御子、山神にて、大峽小峽の山林に恩頼を施き給ふが故に、木材を伐りたる時は、必ず其本末を大神に奉備るを古例とす

當神社は、里説に安永年間村民文吉てふ柚夫自ら神像を彫み、斧納神そのまのと稱して石室を建て奉祀せり、天保年間に至り村内共同して社堂を創興し、明治六年八月再建す

大野郡高山町大字空町字城坂

飛驒招魂社

祭神 天御中主神

高皇産靈神

神皇産靈神

天照大御神

靖國神社御分靈

當神社は、明治十二年四月創建に拘はる、神道中教院内に、同十年西南の役以還、殉難諸士の神靈を合祀したるに、同四十二年五月私祭招魂社の設置を願し、同年六月十六日開屆あり、同四十四年三月受持神官を置かれ、同年五月十七日靖國神社の御分靈を奉祀す

大正八年五月二十日印刷
大正八年五月二十五日發行

岐阜縣神德會大野郡支部

岐阜縣大野郡高山町大字川西四二〇番地

印刷人 加藤久之助

岐阜縣大野郡高山町大字川西四二〇番地

印刷所 大六印刷所

8.7.25

20

324

60

終

